

## 事例3 急傾斜水田保全に向けた取組み

蓬田村 阿弥陀川第1

協定面積 田 7 ha 協定参加者 9 人

- 阿弥陀川集落は蓬田村南部に位置し、大部分は平坦な水田ですが、大倉岳に面した一部の地域は傾斜度 1 / 16 以上の急傾斜地で、棚田のようになっています。

交付対象は、この急傾斜水田であり、平成13年度から9戸で協定を締結しています。

- 集落では地下水をくみ上げて、かんがい用水としており、ポンプ場、貯水池を整備して、急傾斜水田を保全しています。転作が進むにつれて、転作作物としてそばが増加し、水路の管理がよろそかになるなど、水稻作付けの継続が困難な状況となったため、交付金を貯水池をはじめとした水路の管理に充てています。

- 現在耕作放棄地はないものの、経営を安定させるためには、そばと他作物を組み合わせた作付け体系に移行していく必要があります。

今後は交付金を活用し、新規耕作の導入やそばを使った加工品などに取り組んでいくことにしています。



貯水池周辺の環境整備